

決算報告

特別会計

目的を特定した事業収入と支出を
区別して経理する会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	60 億 7,235 万円	60 億 7,045 万円
後期高齢者医療	9 億 2,078 万円	9 億 1,964 万円
介護保険	81 億 934 万円	77 億 8,866 万円
栗野地区農業集落 排水処理事業	5,873 万円	5,240 万円
工業団地	6 億 7,385 万円	6 億 7,384 万円
月舘宅地造成事業	1,477 万円	283 万円
財産区（12 区）	1,419 万円	855 万円

健全化判断比率

5 つの指標から
財政状況判断

財政状況を表す 5 つの指標

市の財政状況を 5 つの指標で表して公表しています。この指標が基準値を上回る場合、*早期健全化団体、財政再生団体となります。

伊達市は **5 つの指標すべてが「該当なし」「基準内」**となっています。

比率名	令和5年度	早期健全 化基準	財政再生 基準
実質赤字比率	該当なし	12.62%	20.0%
連結実質赤字比率	該当なし	17.62%	30.0%
実質公債費比率	10.4%	25.0%	35.0%
将来負担比率	52.8%	350.0%	比率なし
資金不足比率	該当なし	20.0%	比率なし

公営企業会計

事業収入で経費をまかなう
独立採算が原則の会計

水道事業

会計名	収入	支出
収益的収支	18 億 2,006 万円	16 億 533 万円
資本的収支	1 億 9,872 万円	6 億 638 万円

下水道事業

会計名	収入	支出
収益的収支	7 億 5,826 万円	6 億 9,050 万円
資本的収支	3 億 4,646 万円	7 億 1,506 万円

【用語解説】

- 収益的収支** …1年間の営業活動に係る収入と支出のこと。
- 資本的収支** …施設の整備・拡張など、資産の形成のための収入と支出のこと。
- 実質赤字比率** …一般会計に赤字がどのくらいあるかを表す指標。
- 連結実質赤字比率** …全ての会計で赤字がどのくらいあるかを表す指標。
- 実質公債費比率** …全ての会計で借金返済にあてる経費がどのくらいあるかを、3年間の平均値で表す指標。
- 将来負担比率** …全ての会計で将来負担が見込まれる経費がどのくらいあるのかを表す指標。
- 資金不足比率** …全ての公営企業会計で資金不足がどのくらいあるのかを表す指標。

※コラム 早期健全化団体、財政再生団体になると？

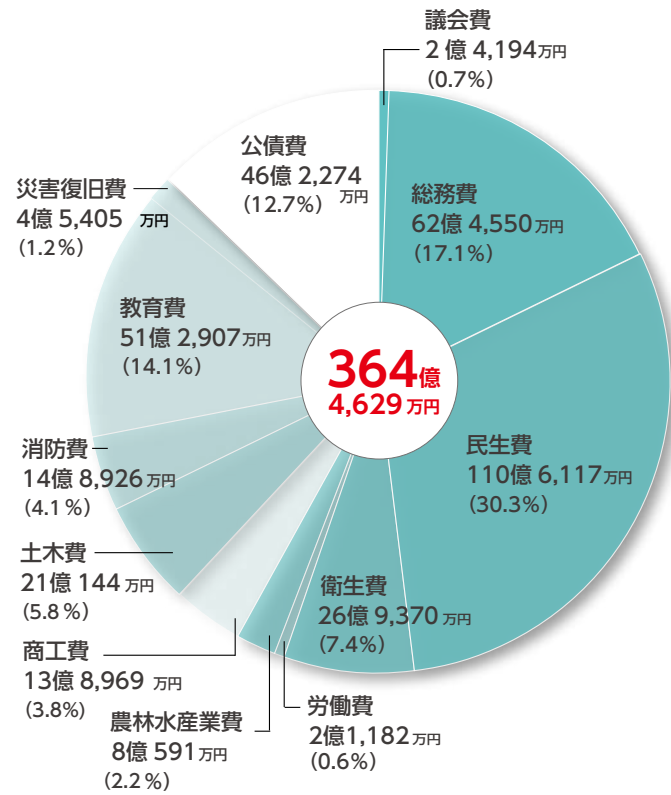
国の監視のもとで財政健全化や財政再生に向けて計画的に取り組まなければなくなり、事実上、お金の使い方が制限されます。借金が制限され、道路整備などがなかなか進まなくなります。

決算報告

一般会計

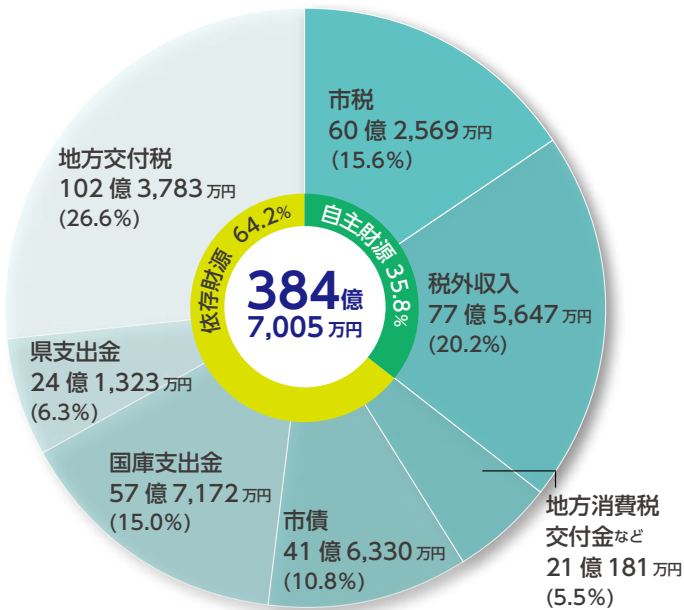
福祉や道路整備など市の行政運営の
基本的な経費を計上した会計

歳出 364 億 4,629 万円



※小数点第2位以下は四捨五入

歳入 384 億 7,005 万円



令和5年度一般会計

歳入一歳出	20 億 2,376 万円
R6 年度への繰越	6,513 万円
実質収支	19 億 5,863 万円



▲伊達・ひかり認定こども園
▼保原工業団地



快適で住みよい地域の魅力が輝くまちづくりと若者の定住促進

令和5年度は、第3次総合計画がスタートした初年度として、伊達小学校改築事業や保原、伊達・ひかり認定こども園の整備、かみばら放課後児童クラブの建設など、子育て支援の充実に取り組みました。また、高子駅北地区において官民連携による交流施設やまちの駅だての整備など、多世代交流と地域の賑わい創出に取り組みしました。

このほか、大型商業施設誘致に係る土地区画整理事業への支援、新工業団地のアクセス強化や利便性向上のための道路新設改良事業、商工業の発展と雇用確保のための企業誘致など、未来に輝く伊達市の基盤づくりを進めました。

各事業の実施にあたっては、可能な限り有利な財源の確保に努め、自主財源の支出を抑えた予算執行を行いました。また、将来の財政負担に備えて財政調整基金、公共施設維持整備基金等へ積み立てました。



新型コロナウイルス感染症対策事業及び物価高騰対策事業を重点実施

令和5年度一般会計決算は、歳入総額384億7005万円、歳出総額364億4629万円となりました。

歳入から歳出を差し引いた額は20億2376万円、そこから令和6年度への繰越分(6513万円)を差し引いた実質収支は19億5863万円でした。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種業務を継続して実施したほか、令和4年度から続く原油価格・物価高騰に対応するため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、住民税非課税世帯などに対する給付金給付事業を実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、市内の消費回復のためのプレミアム付商品券を発行するなど、市民および事業者に対するの各種支援事業を実施しました。

主な使い道 令和 5 年度に行った事業

公共サービス充実のために（総務費）	
生活交通対策事業費（バス路線運行、デマ ンドタクシー、阿武隈急行支援）	3 億 4,140 万円
月舘 + cycle 推進事業	7,217 万円
福祉・子育てのために（民生費）	
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給 付金給付事業	1 億 6,137 万円
保原認定こども園整備事業	4 億 809 万円
伊達・ひかり認定こども園整備事業	3 億 4,161 万円
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費	6,381 万円
健康づくり・環境のために（衛生費）	
健康運動習慣化支援事業	2,293 万円
感染症予防事業費	2 億 3,845 万円
伊達市保健センター改修・増築事業	2 億 6,366 万円
農業振興のために（農林水産業費）	
鳥獣害対策事業	4,293 万円
就農支援事業費	3,894 万円

観光・商工振興のために（商工費）	
地域経済活性化事業 （地方創生臨時交付金事業）	1 億 9,392 万円
企業誘致推進事業費	5 億 7,687 万円
道路・公園整備のために（土木費）	
道路施設等維持管理事業	3 億 2,824 万円
道路新設改良費	6 億 3,710 万円
消防設備充実のために（消防費）	
災害（防災）対策事業 （被災住宅等公費解体）	1 億 9,633 万円
学校教育・生涯学習のために（教育費）	
ICT 活用教育支援費	4,186 万円
伊達小学校改築事業費	22 億 4,221 万円
災害復旧のために（災害復旧費）	
農林業施設災害復旧費	1,644 万円
除染対策事業費	2 億 412 万円

基金 市の貯金はどのくらい？

基金は、将来の負担を減らし、税収の減少や施設の老朽化などに対応するため、計画的に積み立てと取り崩しを行っています。

基金の額

	基金名	令和 5 年度末残高
一般会計	財政調整基金	24 億 8,849 万円
	減債基金	6 億 2,263 万円
	地域創造基金	28 億 6,176 万円
	公共施設維持整備基金	18 億 4,363 万円
	教育施設整備基金	4 億 4,108 万円
	その他	15 億 8,823 万円
一般会計基金計（A）		98 億 4,582 万円
特別会計基金計（B）		8 億 7,734 万円
合計（A+B）		107 億 2,316 万円

【用語解説】

財政調整基金…災害の発生や経済の急激な悪化など税収減少に備えるもの。

減債基金 …市の借入の返済を計画的に行うためのもの。

地域創造基金…地域振興の事業を行うために積み立てておくもの。

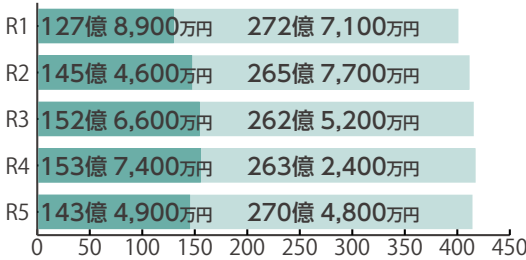
市債 市の借金はどのくらい？

返済金の全部または一部が後で国から地方交付税として配分される「合併特例債」などを活用し、**市が自己の財源で返済しなければならない借入金**は、**全体の 35%程度となっています。**

市債の額

	会計名	令和 5 年度末残高
一般会計	一般会計	413 億 9,701 万円
	特別会計（工業団地造成事業）	0 万円
	公営企業会計（水道事業）	34 億 7,539 万円
	公営企業会計（下水道事業）	63 億 860 万円
	合計	511 億 8,100 万円

市の借入金（一般会計）の推移



市が自己財源で返済するもの 国が交付税として配分するもの